

【大刀洗町】

1人1台端末の利活用に関する計画

1. 1人1台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」で述べられているように、全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実現するためには、学校教育の基盤的なツールとして ICT は必要不可欠なものです。

大刀洗町教育施策要綱にも記載しているとおり、授業において ICT 機器を積極的に活用し、学習指導の効果を高めることにより、個別最適な学びと協働的な学びを実現し教育の質の向上を目指します。

2. GIGA 第 1 期の総括

GIGA スクール構想の第 1 期により、大刀洗町でも令和 2 年度末に児童生徒・指導者用端末、大型提示装置や通信ネットワークの環境整備を進めるとともに、授業支援ソフトやデジタルドリルの導入、ICT 支援員の配置を行うなど授業面や技術面でのサポートも行うことにより ICT の活用を進めてきました。また、ICT 活用指導力の向上や学校間の連携・情報共有を図るために、教育委員会と各学校の情報教育担当をメンバーとする GIGA スクール部会を立ち上げ、定期的に会議を開催しているところです。

ICT の導入により、個別最適化された学習の実践が始まり、生徒の理解度に応じた学習が進められるなど学習の多様化や、デジタル教材や学習アプリの活用が広がり、探究的な学びが促進されるなどの効果が出ました。また、多くの教員がオンライン授業やデジタル教材を活用した授業のやり方を研究し実践したことにより ICT を活用した指導方法のノウハウが充実しています。

一方で、ICT の活用が進むにつれ、学校間や教職員間において ICT 活用状況や ICT 活用能力の格差がはっきりと表れています。また、新たな ICT ツールの導入により、教材作成や指導方法の変更などによる教職員の業務負担の増加やネットワークが繋がりにくい学校も出てくるなどの課題も出てきています。

GIGA 第 2 期においては、ICT の「活用」や「ネットワーク環境」の課題解決のための取り組みを行っていきます。

3. 1人1台端末の利活用方策

(1) 1人1台端末の積極的活用

毎日の授業で授業支援ソフトやタブレットドリルなどを活用し、家庭学習でも端末の活用を進めるなど、今後も積極的な活用に取り組んでいきます。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

端末を効果的に活用することにより児童生徒が、自分の理解度・進度に合わせて学習を進める「個別最適な学び」や、自分の考え（結果やその過程）を説明する活動や互いに考えを説明し合

う「協働的な学び」など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善充実に取り組んでいきます。

(3) 学びの保障

長期欠席や不登校となっている児童生徒へ端末を活用したオンライン授業への参加・視聴の機会を提供したり、障害のある児童生徒や日本語指導の必要な児童生徒、特別な支援を要する児童生徒など様々な困難を抱える児童生徒への支援策として、多様な場面で1人1台端末を活用していけるよう取り組んでいきます。